



報道関係各位

2022年4月26日
ダノンジャパン株式会社

カラダを動かす人を応援する「ダノンオikos」より、期間限定製品 「ダノンオikos 脂肪0 ゴールデンパイナップル」 発売開始

ゴールデンパイナップルの甘さとヨーグルトの爽やかな酸味がマッチした、
おいしいプロテインチャージ

ダノンジャパン株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:ローラン・ボワシエ)は、高タンパク質で、すべてのスポーツをする人を応援する“カラダ動かす、ジブン追い越す“水切りヨーグルト「ダノンオikos」より、期間限定製品、「ダノンオikos 脂肪0(ゼロ) ゴールデンパイナップル」を、5月9日(月)より全国のコンビニエンスストア向けに、5月16日(月)より同スーパーマーケット向けに出荷を開始いたします。

「ダノンオikos 脂肪0 ゴールデンパイナップル」は、タンパク質含有量を10.1gとし、脂肪0およびたったの91kcal(1カップあたり)で、パイナップルの持つ甘みとさわやかなヨーグルトの後味を楽しめる水切りヨーグルトです。ゴールデンパイナップルのソースは自然な甘さで水切りヨーグルトのおいしさを引き立てるとともに、果実と果肉の鮮やかな黄色の外観は、目で見ても楽しむことができます。



「ダノンオikos」は、スポーツをする全ての人のカラダづくりをタンパク質でサポートしています。「ダノンオikos 脂肪0 ゴールデンパイナップル」のパッケージは、アメリカンフットボールの選手をモチーフにしています。高校生から社会人まで、アメリカンフットボールをプレイしたり、観戦して楽しむことができるシーズンの始まりにおいて、激しくカラダを動かし、エネルギーを必要とするアメリカンフットボール選手をモチーフにしたオリジナルデザインで新登場。ボールをパイナップルに見立てる遊び心と、プレイヤーの力の源となる筋肉の部分にアルファベットで「オikos」と「プロテイン」の文字をあしらっています。これは、今日の自分を追い越して前に進んでいく、スポーツをする全ての人へ「ダノンオikos」がカラダづくりをサポートするというメッセージを表現しています。

【製品特長】

- **タンパク質含有量は、1 カップあたり 10.1g(栄養成分表示)**。日本人の食事摂取基準*では、一日に必要なタンパク質は摂取エネルギーの 13～20%が理想とされており、成人男性は一日 60g、成人女性は一日 50g が理想の推奨量とされています。
- **脂肪ゼロ**とは思えないクリーミーで濃密な食感は、**100kcal 未満**という低カロリーでも高い満足感が得られます。
- 通常のヨーグルトと比べ、乳原料が 3 倍、**タンパク質が 2 倍**で、ヘルシーかつ濃厚なヨーグルトです。(当社従来品と比較)

*厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2020 年版)」より

【製品データ】

製品名	「ダノンオイコス」ヨーグルト 脂肪 0 ゴールデンパイナップル (製品短縮名:ダノンオイコス ゴールデンパイナップル)
製造者	ダノンジャパン株式会社 館林工場 群馬県館林市下早川田町 366-1
名称	発酵乳
出荷日	2022 年 5 月 9 日(月)(コンビニエンスストア向け) 2022 年 5 月 16 日(月)(スーパーマーケット向け) ※期間限定
発売地域	全国(物流可能エリア)
賞味期間(保存方法)	39 日間(要冷蔵(10℃以下))
内容量	113 g(1 カップ)
希望小売価格	オープン価格
原材料	乳製品(国内製造)、パイナップル果肉・果汁、砂糖、キャロットエキス/増粘剤(加工でんぷん、増粘多糖類)、酸味料、香料、クエン酸カルシウム、(一部に乳成分を含む)
栄養成分表示 (1 カップ 113g あたり)	エネルギー:91kcal、たんぱく質:10.1g、脂質:0g、炭水化物:12g、食塩相当量:0.2g、カルシウム:125mg

■OIKOS(オイコス)について <https://www.danone.co.jp/oikos/>

「ダノンオイコス」は、独自の水切りヨーグルト製法を用いた、濃密でクリーミーな食感が特徴のギリシャヨーグルトです。高タンパク質で満足感が高いにもかかわらず、**脂肪ゼロ、100kcal 未満**という特長から、朝食はもとより、間食や午後のおやつ、夜食など幅広い喫食機会でも支持されています。特にスポーツをする人にとってタンパク質は体を動かす原動力となる重要な栄養素で、「ダノンオイコス」は手間なく、効率的においしいタンパク質をとっていただけます。「カラダ動かす、ジブン追い越す。」をタグラインに、スポーツをはじめ体を動かす人々の良質なタンパク質補給を応援します。

■ダノンジャパンについて <http://www.danone.co.jp>

ダノンは 1980 年に「味の素ダノン株式会社」として日本市場に初めて参入し、1992 年に「カルピス味の素ダノン株式会社」を設立しました。2007 年に 100%子会社としてダノン傘下に入り、社名を「ダノンジャパン株式会社」に改めました。ダノンの日本法人であるダノンジャパン株式会社は、チルド乳製品では「ダノンオイコス」「ダノンデンシア」「ダノンピオ」「ダノンヨーグルト」「プチダノン」「ベビーダノン」、植物性食品「アルプロ」を提供するとともに、ウォーターでは「エビアン」ブランドのサポートをしています。

また、ダノンジャパンは、日本の大手消費財メーカーおよび食品業界で初となる B Corp 認証を 2020 年 5 月に取得しました。B Corp は、米国のペンシルベニア州に拠点を置く、非営利団体 B Lab が運営する国際的な認証制度で、社会や環境に配慮した事業活動において一定の基準を満たした企業のみにも与えられるものです。ダノンジャパンの B Corp 認証取得に関する詳しい内容は[こちら](#)

■ダノンについて <http://www.danone.com>

ダノンは、チルド乳製品と植物由来の製品、ウォーター、専門栄養食品をあわせた、健康に焦点を当てた 3 事業で急成長を遂げている、飲食業界における地域密着型のリーディングカンパニーです。「私たちの健康と健全な地球は繋がっている」という強い信念のもと、ダノンは「One Planet. One Health」というビジョンを掲げ、より健康で持続可能な飲食習慣を促すことを目指しています。食の革命(フードレボリューション)を加速させ、すべてのステークホルダーに優れた持続可能で収益性の高い価値を創造するために、ダノンは 9 つの 2030 年目標を定め、そして、フランス版の「Public Benefit Corporation」(※アメリカの法人格)である、「Entreprise à Mission(使命を果たす会社)」モデルを採用した初の上場企業として道を切り開いてきました。ダノンは、「より多くの人々に食を通じて健康をお届けする」という目的を掲げ、定款に定められた社会、社会的、環境的な目標に取り組み、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に沿って、効率的で責任のある包摂的な方法で事業を展開することを約束します。また、ダノンは、2025 年までに B Corp™ 認証を取得した最初の多国籍企業の一つとなることを目指しています。

ダノンは、世界 120 以上の市場で事業展開し、全従業員は 10 万人を越えます。2021 年の売上は 242 億ユーロでした。ダノンには、国際的に認知度の高いブランド(「アクティビア(日本では「ダノンビオ」として販売)」「アクティメル」「アルプロ」「アプタミル」「ダネッテ」「ダノニーノ」「ダニオ」「エビアン」「ニュートリシア」「ニュートリオン」「ボルヴィック」など)や、ローカルブランド(「アクア」「ブレディナ」「ボナフォン」「カウ・アンド・ゲート」「ホリゾン オーガニック」「マイゾーン」「オイコス」「プロストヴァシキーノ」「シルク」「ヴィーガ」など)があります。ダノンは、ユーロネクスト・パリ証券取引所と、米国預託証券プログラムを通じて、OTCQX に上場しています。Vigeo Eiris や Sustainalytics が運用するサステナビリティインデックスをはじめ、「エティベル・サステナビリティ・インデックス」、「MSCI ESG インデックス」、「FTSE4Good インデックスシリーズ」、「ブルームバーグ・ジェンダー・イクオリティ・インデックス」、「アクセス・トゥー・ニュートリション・インデックス」などの主要な社会的責任投資インデックスに選出されています。